

# 機能性ディスペプシアについて



常陸大宮済生会病院 内科医員 井上 和之

「胃がおかしい」「むかむかする」「胃もたれがする」「すぐにお腹が膨れる」…こんな症状が続いている方はいませんか？胃カメラをして「何もないので安心してください」と言われても症状が続いて毎日ご飯がおいしくない、、、そんなあなたはもしかしたら機能性ディスペプシアかもしれません。

## <機能性ディスペプシアとは？>

機能性ディスペプシアは「胃がうまく広がらず食べ物を送り出す機能が弱いなどの消化管の運動異常」「胃酸がたくさんでしまう胃酸過多」「胃の過敏性」「精神的なストレス」といった複数の原因が組み合わさることで「早期満腹感」「みぞおちの痛み」「食後もたれ感」「胸焼け」などの症状が出現する病気です。胃カメラなどの検査を行ってもはっきりとした原因が見つからないときにこの病気を疑います。50%の人は自然によくなりますが、40%は症状が変わらず、10%の人は症状が悪化するといわれているため日常生活に影響が出る方が多いのが特徴です。最近では逆流性食道炎の20～30%、過敏性腸症候群の45%に合併するとも言われています。

## <治療・予防方法について>

症状に応じて胃の動きを改善する薬、胃酸を抑える薬を中心に治療しますが、どうしてもよくなる人は抗うつ薬を使うこともあります。原因を特定するのは難しいため1回で満足する結果を得られないこともあります。どんな薬があなたの症状にあうのかを先生と相談しながら、効果のある薬を探してみてください。日常生活を送るうえではアルコール、タバコ、脂肪の多い食事がきっかけになって発症することがありますので、できるだけ控えるようにして頂くことをお勧めします。命に係わるような病気ではありませんが、「自分の症状が機能性ディスペプシアっぽいから大丈夫！」と思って受診を控えるのはお勧めしません。あくまで胃カメラや他の検査ではっきりとした原因がわからないときに診断されるので、症状が続くようならまずは外来に相談しにいらしてください。



※救急受け入れの人数を月別に表しています。(休日・時間外を含む)

常陸大宮済生会病院 救急患者受入状況

■ 救急車以外  
■ 救急車

